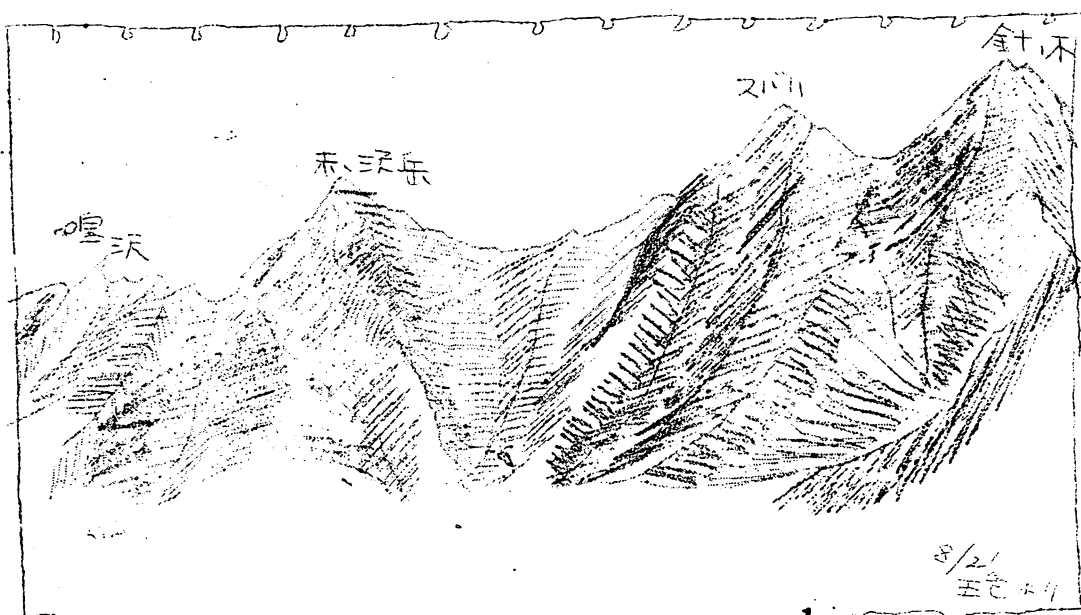


昭和42年度

夏山合宿 報告書

女子Party



信州大学
山岳会
長野山岳部

合宿推感

藤三美

合宿前日までフリーとして参加する予定であったが、前日に、磯田さんが都合にて、入山できず、CLという役割が私におろしてきた。そんなわけでCLとしてのCLの勤めもできず、合宿に入ることになり、ただ安全に合宿が済むことだけを考えていた。

そして長い合宿をふえた今、リードすることの難しさを身感した。CLとしてのカマノ威もばい私が1.2年生を意義ある合宿に、リードすることができたかどうか、疑問である。リーダーとそれ以外のメンバーにおいて、山に行き、煮え方の違いがある。どうだろうか。しかし、いかにせよ一つの合宿の前に各自、目標に向って、どういう態度でのぞむか考えてほしい。単なる遊びの山行ではないということ。多くの合宿を重ねる中で、多に成長すること、1.2年生に期待します。

最後に、今合宿天候が悪く、山道ともタンボ道ともつかないから、そんな気持もあるだろうと思う。しかし、厳しく辛さに耐える中で、山の魅力は、心に留めておいてほしい。しかし、もし、山が怖かったとすれば、(少からあるとは思いますが)残念なことと思う。山の魅力は、沢山の山行を、一生楽しいものとするから。

以上。

去直もそして、五としも、天気がよかった。しかし今日は、あまりよくなかった。雨のせいもあるが、我々の玉意小で、雨あがり、太陽をみて、ワッー、と叫んだこと。そして、温りを感じながら、ゲルカール声でうたうたうたこと。

そんなことをおもいだす。

(計画概要)

I. 目的

1) 体力養成

2) メンバーシップ、リーダーシップの養成

3) 生活技術行を身につける

4) 北アルプスを知る

II. 期日

昭和42年8月13日(日) ~ 8月24日(木)

実動 9日 予備 3日

III. 場所

北アルプス 白馬岳より剣岳

IV. 方法

縦走

(連絡先)

信大山岳会

信大本部厚生課

松本市祖町

(3) 4600

本部

信大教育学部厚生補導係

長 (2) 8106

信大教養部厚生補導係

登山隊

各山小屋

留守本部

百瀬斐敏

梓川高校教諭

松本市岡田松岡51

(3) 3840

部長

清水悟郎

教育学部教授

顧問

斎藤豊

教育学部助教授

長の中吉田広町信大吉田宿舎

(2) 7159

監督

田中邦雄

教養部社会学教授

顧問

百瀬斐敏

工学部教授

コ-チ

石田光夫

南佐久切原小学校教諭

弥津直行

上田市新田ニ341 (2) 5702

コ-4 下倉邦夫
 主将 向後利彦

下伊那郡南和田小学校教諭
 下伊那郡南信濃村
 工学部 工木科
 長の市中御所411 篠原方
 6-5068

(参加者)

- 4. 西山春代 長野市柳原
- ~~子 桜井栄子 下高郡山の内町菅野 1140~~
- ③ 藤沢通代 中野市松川 1777
 (中) 3003
- ② 富井千代子 長の市吉田町信大誠和寮
 下高井郡野沢温泉村 (2) 7129
- ② 渡会意枝 長の市長門町 1078
 東筑前郡坂北村 7037
- ① 中田法子 南安曇郡三郷村小倉 2383
- 1. 牧田あつ子 松本市陶智 2-9-12
 東京都杉並区桃井 2-12-6
- ① 森下妙子 松本市元原町 2162-3
 横浜
- (残留) 陶川絹子 1. 松本市鎌倉崎北区 才2ニホ
- 桜井栄子 3. 下高井郡山の内町菅野 1140
- 富岡まき子 7. 長の市松代町東条 4253

C.L. ... 藤沢
 S.L. ... 西山
 eeen ... 富井・牧田
 整備 ... 森下
 気象記録 ... 渡会
 医療会計 ... 中田

○印は 最後まで縦走した人

夏山合宿雑感

西山春代

今年の夏山は 八月も後半Eったので、山は
シーズンオフきみで静かな山Eった。

昨年の様に 晴れ続きの光の中を行く様な
夏山ではなEたが、雨があEたり、風があE
たりするのは 山のかげと光をぬって行く様に
変化が有ると思う。

- 人間の心の動きにつれて感じられる多彩
な美しさは夏山ならではのものEと思っ
ました。

今度もいろいろ反省する材料にはなEかな
いのですが、人数が減Eた、雨が降Eた、風が吹
いた、台風が来Eた、そもいいと思う人Eです。条件
が悪Eたらその中でリッパにやEおEいい。
良い条件でなEたE水でもEきます。むしろ悪い
条件の時にEもE分EきるだけのものE必要
なものEと思うのでE。

雨が降Eたからどうか、メンバーがどうか、
何か理由をEつけてごまかしてEしょう人EはなE
く、もう一E自分E山にEのEんE態度にE
て考EてEみる必要Eある様に思Eます。

人をたよっていた。勉強不足、トレーニング不足、心の準備の不足、等、あんなに気持ちよくなった所があると思っております。

何か世相が日本人合宿の影響を与えて変化していく様に思っております。

いろいろ言っても、夏山で反省した良かった点、特に悪かった点について、ぜひ今後には生かしてほしいと思っております。

エッセンを担当した高井千代子

女子は特に量が少なく食べれず栄養のあるものを考えなければいけないと痛感しました。

米は1人1合炊いてもあまる場合もありました。しかし食べなくても重かけるというのはどういうことなのかしら？

クッキーを昼食にとり入れましたが好評でした。

上手に運べば型もくずれないしなんといっても食べれるということ実質2枚しか食べない乾パンより栄養価は高くなりそうです。しかしかきばるのが欠点です。

なるべくみんなの希望に答えられるように1枚ので最初の献立通りいかないうちもありました。全般的に野菜が少なかつたのは重量の関係から仕方がないかもしれないけれど、ナスなどオーブンに入れてもいいし今後もっと利用すべきです。肉は味をつけておくと長持ちするということもわかりました。

臭いを放ち始めてからやつたのでちょっと心配でしたが結局13日から22日まで大丈夫でした。

入山の日目キャベツが芯からくさり始めたのでびっくりしました。全般的に好評だったように聞いています。

何となくでもエッセンは係と当番のチームワークが食事をおいしくし、材料がいくら良くても作り方が悪いのは食べれないし逆に腕が良くても材料が不揃いでは同様です。

そういうことを身にしみて感じました。

思い出の後編

千代子

初めての縦走で全部歩き通せるか心配だった。練成合宿で「ツケ、コラ何やってるんだ」という言葉にうなされ通したことのみ頭に残っていたかも知れない。そればかりか入山前に予定のメンバーが2人減ったことに対する不安は大きかった。

誰か感じただろうけれど調子の狂ったような山行だった。雨にたたらられ病におかされそれでも歩く！人間は強いなあ。正確に足が先に進むんだもの。一番楽しかったのは一日中つくりだした次の日五竜から種池までの山程であった。

後半冷池から種池までほぼリーダーと2人きりになったので多少焦ったけど前半はとても良かった。パッキングしている時待望の雲海が見え五竜岳への途中で朝日が登るのを見た。

松本清張という人は一度もアルプスに來ないで鹿島槍を舞台に殺人計画をたててお金をもうけたそうである。実はいかに登っても私のようにあとはおぼろしい人間もいるかと思えば資料だけいろいろな想像をほりぬぐう人もいるんだから世の中っておもしろいなと普段の一本の時とはずいぶん違うことを考えた。

赤沢策でこれも待望の黒部湖を眺められた。あたりまでたどり着いたけれど湖は平らなだけ。いろいろなことはあんな山行はなかったと一歩一歩

さみしく感じるのは「どうしても山を楽いふことに
徹底できないのだ」³⁾という事です。
二人等れば山を下りたいという話だが「やむを得ず」
つらむ。男子が「今回はアカデミックな縦走
だ」となると話しているのをきいてうらやましくな
った。重い荷物をよって高い所へ登って下り
下りるだけなら「ふうい」と一緒に夕日を見
かたいで山へ行く方がよっぽど喜ぶはず
し世の中の人のためになる。もっと余裕のある山行を
するのにもっと勉強しなればと痛感しました。
結局最後に馬場島で解散ということになりました。
上市からバスで上ったのでかゝあれはまたく
ムが行動だと思えます。
慰霊祭に残る人だけが報告にのぼればい
いかならないでしょうか。

— おわり —

装備係の反省

合宿に入る以前から装備について研究しな
かったのが色々支障をきたしてしまいました。
でも装備係が注意してもエッセン当にならぬ動
注意して欲しかったと思います。

感想

森下 妙子

新人合宿以来の大きな夏山合宿では女性だけで
行って気心が知れ良かった。新人合宿ではよく先
輩に叱られる。そんなわけでいつも緊張の連続
で神経の休まる暇がなかったのに比べ今度のは緊張
に欠けてしまった気がする。

出だしから悪かった。人数が足りずボエガスが使え
なかったりで私達は合宿に入る前に器具を十分知
る必要があると思う。今まではこうやって2人で1人で教
えられていただけ。そして合宿の1~2時になって
使方を教わりす(合宿に入る。使方を教わってももし
故障した場合の扱い方などしつと細かい点を教
えるべきだと思う。今度の場合合宿中に色々面倒を
おして新しいボエガスを少しおかししてしまっ。また
直すのは下級生にやらせてくれる方がいいと思う。皆に
徹底して教えるのは上級生に任せ迷惑かけるのが可なりと思う。
最終にこの計画は長すぎた。実効9日間とは(体的)に無理を
さかすねばならぬ(するのではない)。もっとも今度の計画が強行
だったことにもよるが。またリーダーの権限が皆に
行き届かなかったように思う。決断が適当でない場合か
あ、だからで

感想

渡会意枝

私にとりて夏山縦走は今回で2回目である。
去年とはメンバーも大がわりに変わりそれ
と同時に山行の味も大部ちがった。

特に今回はリーダーが変わったということも
大きな要因であろう。

藤沢リーダーにはツゴかれたかんじです。1時間から
2時間くらいはごくふつうに歩かされた。

これは少し考えものだが、やはり1つの宿舎であるから
1つの定まったペースを考えてほしかったです。

歩きながら頭にきてしまうなんていう気持ちはもた
せてもらいたくはない。私はこのように思います。
山の自然にツゴかれるということには文句はいても
なんとかたえられる。でもリーダーはリーダーなりの考え
あったんでしようが、リーダーによる山行のムードが大変
ちがって来ると思った。急にリーダーが変こうになったこと
本当にごくろうさまでした。又私もリーダーにはたいた力添え
もしなくて申し訳ありませんでした。

今回は特に最初から雨風にやられて私も体の調子がよくな
かったことなどから一つとして楽しかったなあという思い出が
ない。出発時からして大変こうがおこり、7:40分発のバス
には5人しかのれなかった。最初から不快だった。

テントの中もいつものわらい声は叶んなくて出たけれども後半
3本ポールテントの5人はなにかさびしいようにかんじた。
いつも森下さんの後についている底のあまりまたいらでない
人なぐもちよと悲しそうだった。又8月中旬から下旬に
かけての期間としては夏山では特にツゴかれるところの暑さ
や行動中の水については今回は全々といつてよいくらい

問題にたづななかった。特に黒部湖で漕ぎ舟の
時間まちましている時など今は夏なのか喜んでみんなが
考えたりした。時期的にはよかったかもしれない。
ただ雪渓がなく種池や針の木では20分下りの
1時間エリの水くみに苦労した。

又感激した風景は針の木岳からみえたあのあぶら
黒部湖、去年にひき続いて2度目である五色原
の夕やけ、やっぱり見た人でないと話さうにならない。
イサ面
今も目にうかぶのはボロボロになったポンチョをひかぶり
下をみてよく歩いたあのみんなの姿そしてその中の自分
山登りはただ苦しいのみではいけない。苦しい中にも
何か楽しいそして魅力ある山行にしなければ私にとって
今回の縦走は全々といつていいくらい余やうがなかった
といつていい。鬼力ある山行にしましょう。

今後は少しは

-END-

記録係の反省

今こまていることは山では書いた通りの感想が下山
してからみるといいところほんの一行くらいである。
もとくめしく気づいたことを書くべきだった。
本当にすいませんでした。

気象について

入山から雨にふられ前半は all 雨の中でテント泊りを
しました。気分もそのためまいりました。続きあり
全員

夏山縦走 反省 感想 中田法子

入山前、正直な気持ちで縦走に入りたくなかった。
すでに夏休みも半ばをすぎ、意気が下がってしまった
ためだろうと思う。しかも半面、はじめて、女子だ
けによる合宿に入るということが大きな期待を抱いていた。
しかしそれも入山前にして半分裏切られたようなもな
しさを感じた。二日間の買出し、パッキングの日を取りなが
ら少しもスムーズにいかなかったのはなぜか。
まず装備のズサンなこと。男子パーティーが使ったおとのを
使う予定だというのが、連絡が徹底してはず松本で私たち
一年も思案にまよった。
ホエブスについてはいちより前もって点検しておかなかった
ことが大きなミスだと思う。ホエブスだ、ラジウスだ、カプリンだ、
石油だと何回省ける手向をわかつたことだろうか
それに加えて参加予定者が急に不参加になったり(どう
しようもない理由あつたが)精神的にすっきりしないものが
あつた等々でとにかく入山の時の気持は複雑であつた。
入山してからは初日から雨模様の天気で、矢がおもいやら
れたが、何とか後半になつて持ちなおつたのでほつとした。
苦しい日の連続だったが、先輩と心なく交われるテント生活に
どいほどの意義を感じ、うれしく思つたかわからない。
歩いている時は、早く休みたいとこればかり思い、リーダーの
声のわかるのを今か今かとまっている。いくら歩いても、
「はい一本」の声がきこえない時はむしろに腹が立つて

いったいリーダーは何を考えているんだらうかと何度
思ったかわからない。しかし、今のリーダーは傘が、と私と
同じ気持ちでついていったのだ。

11日間の合宿をおかして見て一番感じたのは日数が
長すぎはしないかということだった。そんなことで冬や春は
どうするかといふかわいさかもしないが、縦走という型式にお
ては、奥動一週向ほどにしてほしい。特に予備は3日ほど
あったが、最初からここは半次にするとかきめていたくらいで
あり、今のことに關して疑問を感じる。そんな予備日ならな
いほうがいいからいいであらう。予備日とは天候の急変や病人が
出た時のものであって、あらかじめ使おうと考えるべきものでは
ない。なぜ予備日を使って半次の日をくらわばならないほど
無理な計画をたつたのか。半次にしようと思っていたのなら
今の日は予備の日ではなく、奥動の日とすきだと思ふ。

また今回の計画は、特にコースに關してだが、四年生
一時的なものだったような気がする。男子のようにいくつ
の計画のなかから自分の気に入ったパーティに参加できる
場合は向題はないだらうが、女子はパーティのみで
選択の自由はないし、そういう点を考慮して納得のいく
コース選択をしてほしかつた。もっとも、こういう考えは現在
なお封建性の強い山岳部においては感觸がずれている
かもしれないが、とにかく反省という悪いことはかりで
埋ってしまうが、今までの合宿で味えなかったことも数多く
あった。女性ばかりだから変な遠慮はいらないし
いろいろの場合の気持ちを、リーダーはじめみんなにわかつて

もらえること、食事がおいしかったこと(新人合宿に比べれば格段の差)同じメンバーで10日間寝食を共にして裸の姿をみてもらい、また先輩の心も山前と比べて深く知ることができたこと etc

結局は年月が過ぎるうちに楽しい思い出だけが残るのだけないかしらと思う。

自分の反省も忘れてはならないが、終始リーダーに迷惑のかけ通しだったことが残念でならない。

リーダーの気持もわからずに勝手に事を言い、装備の軽さを楽にし、何でもない事に腹を立て、まあ教えあげればきりがないので一人静かに反省したい。

今回の合宿がどいほど山に対する知識を広めてくれたかわからないし、今後の自分の山行に大きな影響を与えることは言うまでもない。

自分のつたない山歴の「ページ」を大きく飾る山行だったといえよう。

先輩の皆様、わがままばかり、いいましたが最後までありがとうございました。

会計反省(中田)

すでに食料品などを購入してしまっただから、不参加者が出たりして、そのような人には気遣いがあるが会計としては一応返金しません。

装備などが予定よりかかってしまったのも、備品が徹底してなくて、石油とガソリンをダブって購入したためです。

医療係の反省(中田)

使用薬品

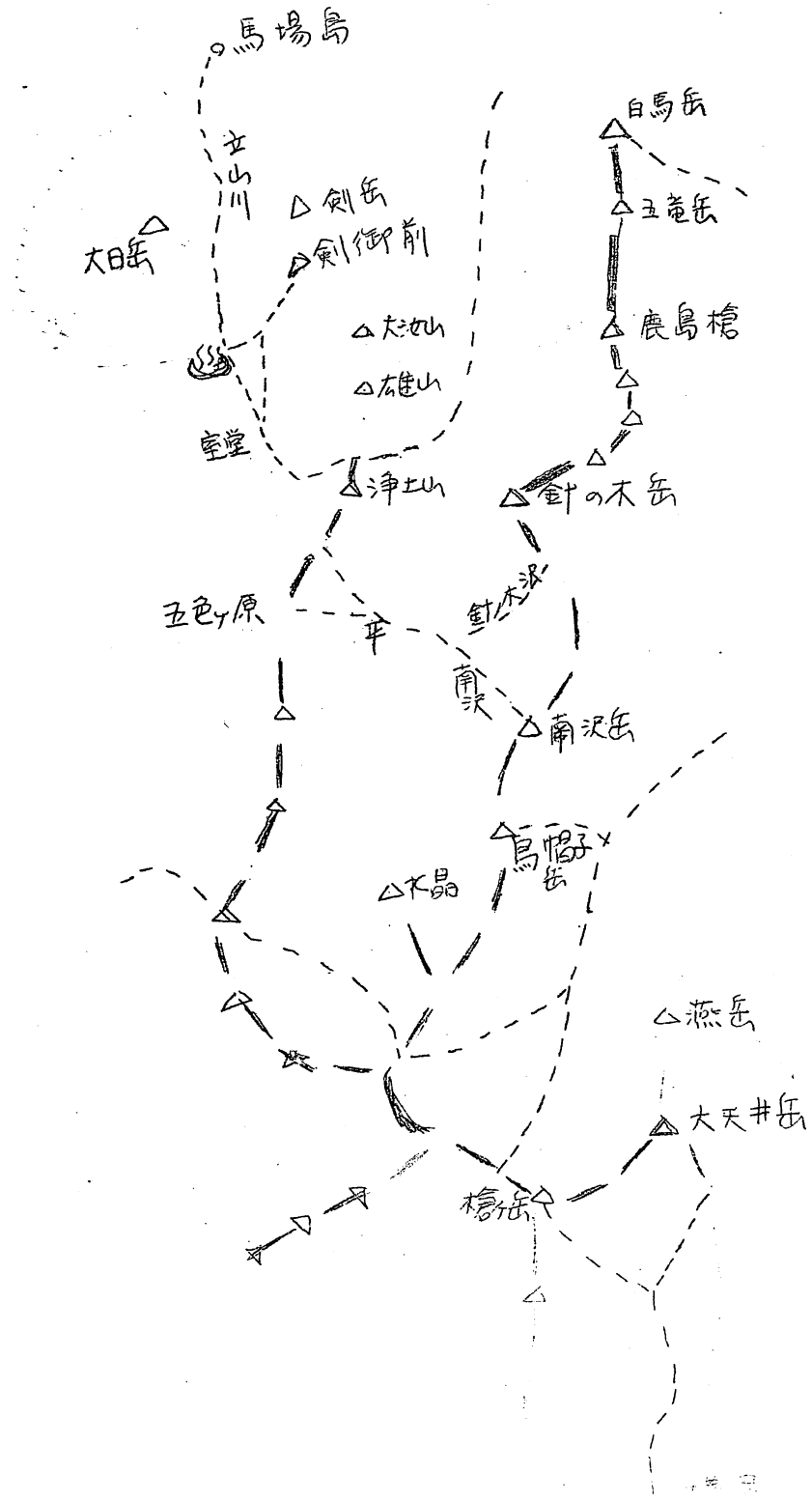
新グセラシ	牧田歯痛	赤キニン	少々	倉井
クロロマイニチン 2	"	オイラックス	"	西山森下
モナフラニニ	藤沢	軟こう	"	虫ささい
ルル	くつずき	バンリーコー	"	藤沢 森下
サラリン	2 森下	ガーゼ	"	
		脱脂綿	"	

急痛とか大ケガもなくほっとしたが、牧田の歯痛は痛手
 だった。痛みをこらえる事もできなくて申し訳ない。しかし、
 事前に体のすみずみまで"気を配って"ほしかった。その時は
 虫ささいくらいで軟ざいも少なかつたしよかつたと思う。
 1つ、気がかりだったことは、滝合さんの"かぜ"で結果的に
 は今回は動けたが、"ゆい"を押しで行動すべきか否かリーダー
 の判断を慎重にしてほしい。
 動けなくなつてからでは遅すぎるので、ビタミン剤は毎日
 に一定の予定であつたが、ほとんど使用しなかつた。
 やはり元気というに見えども、唇半など"痛痒"が目立つので、
 使用するべきだつたと思う。

会計報告(中田)

収入	支出
2500 X 8 = 20,000	食七 15,291-
1000 X 1 = 1000	装備七 1,813-
合計 21000	フィルム代 320-
	タクシー代 300-
	馬 厩 代 140-
差引残高	17864-
21000 - 17864 = 3136	

縦走路概念図)



(行動日誌)

8月13日 晴のちくち雨

朝 7:40 発 長のバスターミナルから 5人 無じ乗車
おやおくりありがとう 富岡 以 お登 さん
ごちそう様

2人 遅刻

9:30 五人 四ツヤ 馬厩で待つ ポテチーン!

11:40 全員 集まる

11:45 四ツヤ 発 バスで 全員 入山

猿倉着 12:20 ここで 昼を 食べる
雨が ほろほろ 降っている

1:00 猿倉 発

白馬 厩 着 2:05

馬厩 テンバ 料 140- あり

夕食 4:30 ニ下で 豚汁 おいしかったです

雨が ぐびく 降る ふう である。横を 流れている 川の 音が ぼた。

7:10 ねる。

8月14日(月) 雨

3:15 起床

5:25 雨の様子をみて 馬厩 出発

12:15 白馬 テンバ 着

3:10 夕食 カレー

いやな 雨 である。みんな 相当 ぬれた ふう である。

かすって いて その ころの 山も あまり 見え なかった。

6:30 ねた。

8月15日(火) 晴のち雨

昨日 とは 違って 変わった の 天気 である。

牧田 さんの 歯 痛が ほど しく 下山 という こと になった。

5:05 出発
大変 人間 が 多い。

12:30 天気 予報 通り 雨が ぶり 降り 始めて きた。

4:00 唐松 着

7:00

10:30 ねん。

今日 荷が一人分どっとぶえたので相当ツゴかれた。
でもみんなあいぶんかんはって歩いた。不帰途も
無い通りぬけた。午後になってからの雨にはこたえん。

16日 (木) 雨

6:00 起床

7:30 唐松 発

10:15 五竜 着

5:00 ねん。

今日は風まじりの雨とあってポンチョも形ばかりの
ようである。地図で見ると唐松から五竜までほわすかであら
何とかがんはって一本でまてしまった。

17日 (木) 雨のち晴

3:00 起床

雨の~~ため~~時間待ちをしていたがどうもあぶないということに
今日は沈んでんということになった。昼ホットケーキを作り
~~お~~人まり食べた。
雲のあいまをぬって太陽も顔を出した。楽しい沈んでん日になった。

18日 (金) 快晴

3:15 起床

4:35 出発

5:35 五竜 頂上 着

すばらしい太陽の出を見た。この姿こそすは
縦走味である。

薬師・黒部五郎険遠くにアリもみえる

9:20 フレット小屋 着

12:10 底島 槍 着

1:40 冷山 着

種池 テンバ 着 4:30

7:50 ねん

今日はいままでの遅れを全部とりかえすくらい歩いてみた
何度も何度もきいたキレットを走せえ
種池でのテンバでは水くみにえらくツゴがはてした。

19日 (土) ほれのちくもり

4:00 起床

5:10 出発

8:10 なる沢岳頂上着

9:20 赤沢岳頂上着

11:55 スバリ岳頂上着

1:05 針ノ木頂上着

2:45 テンバ着

7:30 ねど

休むたびにながめてきた黒部湖 すばらしい。

船が進むたびにできる白い線までとみえる。

そろそろ全員 疲れの色がみえる。

明日は又計画通り西山さんが下山ということだ
カンパしてもらったのなと少しがたがた。

8月20日 (日) ほれのちくもり小雨

4:40 起床

6:00 発。 針ノ木で西山さんは大町方面扇沢へ

Partyは針ノ木沢へと二でに別れて下った。

ずらといっしょに行動してきた Busk 女子パーティーも

今朝。別れた

針ノ木沢は大変静かだ 我々しかいない。

今日は合ではじめて人間にあって。

10:50 平の渡場着

又 天気がさえない。

12:20 ポンポン 船で渡る。

12:45 テンバ着

台風 18号 が ~~ミマ~~ 日本に近づいていて心配である

8月21日 (月)

2:00 おきてみると雨がふっているの少しまった。

6:15 出発

1本 7:15

2本 8:15

3本目 9:50 五色テンバ着

半沈 雲っていても雨がふらぬいたのでたすかった。
帰る人。歌う人。広場(五色ヶ原)では踊りの講習会
までもおあされている。ケラケラ! ハハハ!
夕暮れすばらしい 夕ヤケに全員響嘆

8月22日 (火)

4:00 起床

一の越え着 8:40

室堂 バス停 10:50

上布着 4:10

最後の山をふりかえりふりかえりして下った。
とってもさびしい。ひやくも 堂堂あたりで流行のせんたんの
お嬢さん方に会い 下界の味を知った。

8月23日

8:10 馬場島 に向かってバス乗車

9:10 遺霊碑 建設の人たちに会って縦走の無じを告げ
解散した。

END

